

オンライン・ディベートミーティング

# 在宅医療の10年後を語る

## 第1回 10年後の“看護師”を語る

～医師と看護師の役割分担は如何にあるべきか～

公的介護保険導入後の在宅医療が目覚ましい推進も、未だ医療制度改革と地域包括ケアシステム構築の途半ばであるが、この先問われてくるのはその質的な部分であろう  
いかにして当事者主権を護り、家族共々に満足と納得のACPを示せるのか？  
そのカギを握るのは“地域のナースパワー”なのではないか？  
さて、今宵は如何様な語り合いが展開するのか？ とくにご視聴あれ！

**3月7日(木) 19:00～21:00**

メインゲスト

佐々木 淳 医師  
医療法人社団悠翔会 理事長

ワンポイントレビューワー

源川 達也 氏  
公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会  
認定コンサルタント

モデレーター

千場 純 医師  
社会福祉法人心の会「まちの診療所つるがおか」院長

視聴申込は「横須賀の2040年を考える会」ウェブサイトから

<https://yokosuka2040.org/2403entry.html>



企画：千場 純 (社会福祉法人心の会 まちの診療所つるがおか)  
実行委員：内山 恵美 (サニーナース訪問看護ステーション)  
石川 徳子 (一般社団法人空と花 在宅看護センター横須賀)  
中村あや子 (おひさま訪問看護ステーション)  
庄子 泰輝 (けいあい訪問看護ステーション)  
石川 智子 (咲希看護センター)

主催：社会福祉法人心の会  
共催：横須賀の2040年を考える会  
後援：横須賀市医師会